

くらき永田保育園便り



先日の子どもたち参画型の夏まつりごっこは、想像以上に保育の効果が高かったように感じています。「楽しませてもらう夏祭り」から、「自分たちで楽しむ夏祭り」に着実に進化しているのがよくわかりました。当日、園長は特にやるべき仕事もなかったこともあり、ひとりひとりの子どもらしさが発揮できている状況を楽しく眺めているだけであつという間に時間が過ぎていきました。

9月になるとゆっくりと運動会モードに気持ちが切り替わります。今年度の運動会も9月28日当日だけでなく“毎日が運動会ごっこ”というような遊びの延長線上の運動会したいと考えています。「大人が考えた競技を達成する」運動会ではなく「自分たちで考えて楽しむ」運動会をお楽しみください。運動会を通して「カラダを動かすことがたのしい」という感覚を全ての子どもたちに感じてもらいたいと思います。

汗をかこう！

9月になっても暑さは弱まりそうにありません。昨年もお伝えしましたが、熱中症予防は水分補給や休息もありますが、適度に汗をかくことが大切です。汗腺の数は生まれたときから大人と変わりませんが、能動汗腺（実際に汗をかいて体温調節を行う汗腺）は就学前には発汗機能が完成するといわれています。体温調節機能の成熟のためには、発汗機能が完成するまでのこの時期に、適度に汗をかく生活を送る必要があります日本の子どもたちは60%くらいの能動汗腺と言われていましたが、一日中エアコンで快適に生活する現代の生活様式では寒冷地並みの30%能動汗腺状態になっているのではという報告を聞きました。乳幼児期には1日1回はカラダを動かし、汗をしっかりとかいて、シャワーを浴び、涼しいところで昼食お昼寝を保障する・・・そんな当たり前を大切にすることが地球沸騰化時代を生き抜くために必要なのかもしれません。汗をかくって気持ちいいを感じながら熱中症に対応していきたいと考えています。

大規模災害に備えての確認

台風10号は本州を縦断し、地すべりなど大規模な土砂災害や河川の氾濫など甚大な災害を引き起こしました。今年の夏は台風のニュースで一喜一憂するだけでなく、温暖化の影響による熱中症の警戒アラート対応や台風やゲリラ豪雨による風水害に対しても備えていかねばならないことを突き付けられた気がしています。早速というわけではありませんが9月には風水害を想定した垂直避難訓練を子どもたちに体験してもらいます（通常の地震や火災の訓練も実施します）

また、今月は保育園でも防災強化月間で、防災・減災・備蓄などについて再点検を行う予定です。この機会に大規模災害時の確認を再度行いたいと思います。

- ・ 電話がつながりにくい状態が想定されますので、園からの情報はN T T災害用伝言ダイヤル（171をダイヤルし利用ガイダンスに従って下さい）により情報を提供していきます。
- ・ 震度5以上の地震の際は安否にかかわらず至急お迎えをお願いします（交通機関が乱れる為）。
- ・ 大規模災害が実際に起こった際でも 保護者の方にお子さんを引き渡すまでは開園時間を超えても保育園で責任を持ってお預かりします。

各クラスの『涼を感じた瞬間』をお伝えします！



にこにこ

生まれてはじめてか2度目の夏を過ごしているにこにこさん。暑さ厳しく戸外に出られない日も、室内で涼しさを感じる遊びを工夫しています。冷たい水や氷を入れたビニール袋や、冷たいセンサーボトルや野菜絵の具などで遊んでいる子ども達は、それらに触れた手をじっと見て、冷たさを感じるかもしれないし、濡れた感触に驚いているかもしれません。はじめは不思議そうな表情ですが、次第に口元に運び、舐めて確認したり、様々な角度から観察したりしています。また、うちわで風を送ってみると、目を見開き、笑顔で手足を動かしています。あおぐのを止めると、「もっと」という眼差しを向けてくれます。「涼しい」というよりは「楽しい」と感じてくれているのかもしれません。私たちは「風だよ。楽しいね。涼しいね。」などの言葉を添えながら、子ども達の気持ちに近づき、一人ひとりの心地よさや面白さを探しています。更なる興味に広げながら、暑い夏を楽しく過ごしたいと思います。



よちよち

テラスでの水遊びを「冷た〜い!」「もっと〜」とカラダに水がかかることを楽しみ始めていた子どもたちですが、暑い日が続いてしまいなかなか外に出られませんでした。すると、子どもから「今日は外出しないの?」と保育士に聞いてくるようになりました。子どもたちのためにも、室内でも“涼”を感じられないかと思い、一時保育室で氷あそびをすることにしました。

前日にタッパーや製氷皿に水を入れ、凍らせた氷をタライに出すと「うわあ〜」と言って駆け寄って触れていました。初めは「冷た〜い」と言ってすぐにタライの中に戻っていたのでプリンカップを用意すると、小さめの氷を入れて「美味しいよ」「冷たいよ」と氷料理ごっこが始まり、「くだ〜さい」「どうぞ」とお店屋さんへ発展。冷たさに慣れてくると氷の塊を抱えたり、少し上から落として塊を割って細かくして楽しみました。これからは土や泥水でもたくさん遊んでいきたいと思っています。





すくすく



暑すぎる日や雨で戸外に出れない日には、室内で氷遊びをたくさんして過ごしています。氷遊びは、子ども達が自分で集めた草花で作った『花氷』から始まりました。出来た花氷は取り出すと、「おおきい」「つめた〜い」と大喜びの子どもたち。花氷はレンゲを使って小さくしながら遊ぶ姿が多く見られました。そこで次は小さな氷と花紙と水で作る色水遊びをしました。色水遊びは夢中で遊ぶ子どもが多く、すぐにジュース屋さんが始まりました。花紙は赤と青を用意すると混ぜているうちに「むらさきになった」と色が変わった事にも気がついて、「ぶどうジュースで一す」と言ったり、赤と黄色を合わせていると「こっちはオレンジになった」「オレンジジュースだね」とお友だちと顔を見合わせながら一緒に作る事も楽しんでいました。

他にも収穫したきゅうりを凍らせたり、ビニール袋を使って氷のお手玉作りなども楽しみました。氷は冷たいという感触だけでなく、溶けると小さくなっていく不思議にも触れて楽しんでいきます。

暑い日の室内でも、涼を感じることでできる感触遊びをたくさんしていきたいと思います。





異年齢



猛暑でも子どもたちは元気いっぱいです。みんなプールや水遊びが大好きで、毎朝「今日はお外行く?」「プール入る?」と聞いてきます。のびのび組は昨年まで2階テラスでの水遊びでしたが、今年は大きなプールになりました。はじめは見るだけ参加から始め、動物や乗り物など好きな物になって水の中を歩いたり、個々のペースで楽しんでいきました。「入りたくない～」と言っていた子も、今では目をキラキラさせて「楽しいからまだ出たくない～」と言うほどです。また、どのクラスでも大人気な遊びは『ビー玉探し』や『水鉄砲遊び』です。はじめは的に向かって水鉄砲を楽しんでいますが、最後には的が先生に変わり、容赦なく水を浴びる私たちです！涼を感じて楽しむ遊びはプールだけではなく、園庭での水遊びもダイナミックです。思い切り水かけっこをしたり、滑り台に水を流しウォーターライダー！園庭に大きな水たまりができるとそこは、『泥水温泉』になります！泥の感触を楽しみ顔から足の先まで泥パック！子どもたちは次々と楽しみを見つけ、水や泥が苦手な子も、色水遊びや雨どいを繋げて水流し遊びをしたり、足湯の夏バージョン！足を水につけてひんやり～「冷やし足水」で楽しんでいます。氷の投入時間になると「キャー冷たい～」と大騒ぎしながら氷で体を撫でて涼んでいました。子どもたちにこの他に「夏の遊びで楽しかったことは?」と聞くと「ヤマモモジュースでアイスを作って食べたこと～」という声もありました。まだまだ暑さが続きます！これからも夏ならではの遊びをたくさん楽しんでいきます。



給食室

毎日暑い日が続いていますが、少しずつ日が短くなり、朝晩の風にも秋の気配を感じるようになって来ました。

夏が過ぎ、9月の終わりには運動会がありますね！

この時期になると、子どもたちの体がぐんぐんと大きくなっているのを感じます。

それに合わせて、食欲が増してくる時期でもあります。

保育園では、毎月子どもたちの身体計測を行っていて、年に数回、その数値をもとに、子どもたちの成長に合わせて給食の栄養量も見直しをしています。

食欲の秋とはよく言ったもので、子どもたちも本当によく食べるようになります。

好き嫌いや食べる量は、もちろん子どもひとりひとりそれぞれ違いますが、子どもたちが美味しく食べられること、楽しい食事ができること・心をかけながら、引き続き献立作り・給食作りをしていきたいと思えます。

今年度は、子どもたちが食事作りに関わる（皮むきなどのお手伝いなど）ことも色々としているので、食事や食べ物への興味にも繋がっているようです。

その中で、食べられる物や量が少しでも増えていってくれたら嬉しいです。



食育係より

春に植えた乳児クラスのトマト、オクラ、きゅうり、枝豆は収穫を迎えています。収穫した野菜はにこにこ組では『感触』を楽しみ、よちよち組とすくすく組は実際に食べてみました！収穫した野菜をじっくりと観察したり、そっと触れてみたり、匂いを嗅いでみたり、採りたてならではの野菜の姿を感じる機会になりました。普段はあまり野菜を積極的に食べない子どもが、収穫した野菜を食べている友だちの様子に触発されるように食べてみる姿もありました。友だちに触発されて食べる姿は給食の時にも見られます。一緒に食べることの大切さや楽しさを感じさせてくれます。

異年齢クラスとすくすく組が協力して植えたヘチマは2階のテラスまで伸び、よちよち組が無でたり葉っぱに水をかけたりしています。保護者からご提供いただいた里芋も仲間入りしました。異年齢で育てている枝豆は大豆にする予定です。さつまいもは土嚢に植え替えました。これからの成長や収穫を楽しみにお世話が続いています。

給食の調理のお手伝いを、全クラスが子どもたちの姿に合わせて行っています。異年齢のクラスでは、前回皮を剥いたトウモロコシが「黄色」だったのに、次のお手伝いでは「白い」トウモロコシだったことから、「茹でたら黄色いトウモロコシになるのでは？」と考えて実際に試してみたそうです。

野菜を育てている間や収穫した野菜を目の前にした時の話、お手伝いの時の話は、お子さんに是非聞いてみてくださいね。各クラスからの発信もご覧ください。



今月の行事

- | | |
|--------|------------|
| 7日(土) | トイ活 |
| 13日(金) | 運動会総練習① |
| 14日(土) | 布団乾燥 |
| 16日(月) | 敬老の日 |
| 19日(木) | 久保先生のわらべうた |
| 23日(月) | 秋分の日 振替休日 |
| 26日(木) | 運動会総練習② |
| 28日(土) | 運動会 |